

種子が少なく酸味がマイルドなレモン新品種 「イエローベル」

広島県のカンキツ産地では、経営安定のため収益性の高いレモンの生産拡大を行っており、今後の安定的な販売のため、業務用への需要拡大や新商品の開発を目指しています。そこで、あらたな需要開拓に結びつく特徴ある新品種を育成しました。新品種「イエローベル」の概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. 「イエローベル」は、2000年に「道谷系ビラフランカ」の自然交雑実生から三倍体を選抜して育成した品種です。
2. 樹姿は直立と開張の中間で、樹勢は強く枝梢は密に発生し、枝梢の長さは中で、枝梢のトゲ発生率は65.8%で、「道谷系ビラフランカ」より高いです。
3. 育成地（三原市木原町）における満開期は5月第2半旬で、着色は10月下旬から始まり、12月中旬に完全着色となります。成熟期は果汁割合が高くなる12月中旬です。
4. 果実は球～鈴形で、果皮はやや滑らかです。
5. 果実重は約210gで、「道谷系ビラフランカ」より大きいです。
6. 果皮は約5mmで薄く軟らかいので果汁を搾り易いです。香気は「道谷系ビラフランカ」より弱いです。
7. 酸含量は約5.5%で「道谷系ビラフランカ」より1%程度低く、酸味がマイルドです。
8. 種子は「道谷系ビラフランカ」より少なく使い易いです。



写真1 「イエローベル」の結実状況



写真2 「イエローベル」の果実

☆ 活用面での留意

1. 2012年3月23日に品種登録になり、今後数年間は広島県内のみで普及を図ります。
2. 無核で結実しますが、周辺に花粉の多い品種がある等の栽培条件によって、少数の種子が入ることがあります。また、着花数は多いですが、結実率が低く収量が少ない年があります。
3. かいよう病等の病虫害防除は、レモン既存品種に準じて実施します。
4. 詳細については、広島県立総合技術研究所農業技術センター 広島レモン利用促進技術開発プロジェクトチーム（電話：0846-45-5472、電子メール ngclemont@pref.hiroshima.lg.jp）にお問い合わせください。

（果樹研究所 企画管理部 研究調整役 岩波 徹）